



加藤 敏彦 議員

オバマ大統領の核廃絶演説の見解

質問

いま、核兵器廃絶の動きが大きく変わった。

4月にオバマ米大統領が「アメリカは核兵器を使用した唯一の核保有国として行動する道義的責任がある。…アメリカは核兵器のない世界をめざす」と演説し、ロシアの大統領も「核兵器のない世界へ促進しうるもの」と語っている。5月には、ノーベル平和賞を受賞した17人が「ヒロシマ・ナガサキ宣言」を発表した。また、日本共産党の志位委員長も、4月にオバマ大統領に、核兵器廃絶交渉の開始を要請した書簡を送り、米

政府から「あなたの情熱をうれしく思う」と返書をいただいた。核兵器廃絶については、来年5月に国連で、核不拡散条

約再検討会議が開催されるが、その準備委員会では、核兵器廃絶の「明確な約束」を明記した議題を決定した。しかし、北朝鮮から5月25日に、核実験を強行する暴挙を行った。愛西市議会もこの暴挙に抗議の決議を行った。アメリカのオバマ大統領の演説、そして北朝鮮の核実験強行について、どのような見解か。

市長

オバマ大統領の演説は、歴代の大統領の中ではなかった発言。まさに世界中でこうした核の廃絶が一層進むことを望んでいる。



北朝鮮の核実験については、6月の全国市長会で「北朝鮮核実験に対する抗議と核兵器の廃絶を求める緊急決議」がなされた。

質問

愛西市は「非核・平和都市宣言」を行い、平和行政を推進してきた。6月9日は、国民平和大行進を山田副市長と加賀議長に激励いただき、市長や議長、議員の核廃絶署名を手渡した。

今年の平和行政の事業計画は。

福祉部長

中学生の広島派遣事業は、例年どおり派遣する。平和コナーは7月1日から17日まで4箇所の庁舎、福祉センター3箇所、他の公共施設、保育園、児童館にお願いしていく。原爆パネルは、佐屋公民館で展示する。

介護認定基準変更の影響は

質問

4月より介護認定基準がきびしくなり、介護サービスを受ける住民にとって不安がある。

愛西市においてどのような影響がでているか、市としての対応はどうか。

福祉部長

121件の更新の方の介護認定を行い、1次判定で前回の更

新前より下がった方は57件、2次判定で下がった方は42件下がった方のうち2名以外は経過措置により、従前の判定になり、サービスも変わりなく、利用してもらっている。

その他の質問

- 住民懇談会の開催、住民投票条例の制定を
- 公共下水道料金と普及率について